

しれいかんモロナイ、 ゼラヘムナをうちまかす

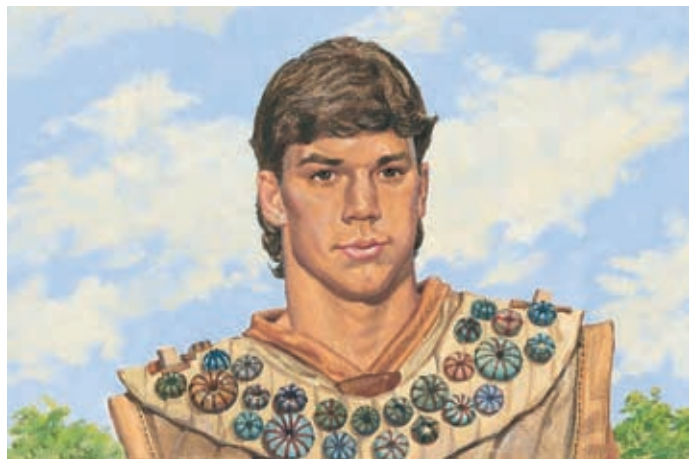
だい31しょう



レーマン人のしきかんゼラヘムナは、レーマン人に引きつづき
ニーファイ人をにくませ、ニーファイ人をどれいにしたいと
おもいました。(アルマ43：5、8)



ニーファイ人のねがいは、自分たちの土地やかぞくのじゆうをま
もり、思うままに神をれいはいすることでした。(アルマ43：9)



ニーファイ人のぐんをしきしたのは、しれいかんモロナイでした。
レーマン人がせめて来た時、モロナイはぐんをひきいてジェルシ
ョンの地でたたかいました。(アルマ43：15-16)



モロナイはたくさんのぶきをよういし、へいしたちにたてとかぶ
と、それにあつこころもをつかせました。(アルマ43：18-
19)



一方、レーマン人のぐんはこしにかわをまっただけでした。そ
のため、ニーファイ人のぐんよりもずっと多かつたにもかかわら
ず、ニーファイ人のぶそうがたを見て、おそれをなしました。(アル
マ43：20-21)



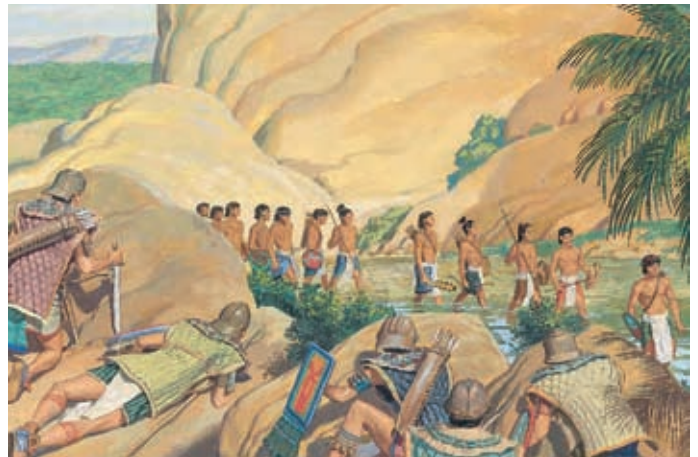
レーマン人のぐんは、モロナイのぐんとたたかうゆうきをうしない、あれ野へにげました。そしてニーファイ人のほかの町をせめようとしました。(アルマ43：22)



モロナイは、ていさつへいをおくって、レーマン人たちのようすをさぐらせ、さらにアルマに、たすけていただけるように主にいのってほしいとたのみました。主は、レーマン人のぐんがせめようとしている地をしめされました。(アルマ43：23-24)



モロナイはアルマのでんごんをきくと、へいしのいちぶをジェリションをまもるためにのこし、のこりのへいをひきいて、レーマン人とのたたかいにむかいました。(アルマ43：25)



モロナイのぐんはシドン川のりょうぎしにかくれて、レーマン人が川ぎしにやって来たら、はさみうちにしてしまかまえていました。(アルマ43：27, 31-35)



たたかいはじまると、レーマン人は川をわたってにげようとしてきました。ところが、むこうぎしには、もっと多くのニーファイ人がまちかまえていたのです。(アルマ43：36, 39-41)



ゼラヘムナのぐんがかつてないほどはげしくたたかったので、多くのニーファイ人がいのちをおとしました。ニーファイ人たちは、主のたすけをもとめました。(アルマ43：43-44, 49)



主はニーファイ人のぐんに、たたかう力をおあたえになりました。モロナイは自分のぐんがレーマン人を取りかこんだのを見て、たたかをやめよとめいじました。(アルマ43：50、52-54)



モロナイはゼラヘムナに言いました。「われらはおまえたちをころすのをこのまゐい。どれいにするつもりもない。主がわれらをたすけられたのだ。」(アルマ44：1-3)



「おまえたちは、われらのイエス・キリストへのしんこうをけしめることはできない。われらがちゅうじつである間は、神はわれらをたすけてくださる。」(アルマ44：4)



それからモロナイはゼラヘムナにぶきを引きわたすようめいじて、言いました。「もしおまえたちがにどとわれらとたたかわないとやくそくするなら、いのちはたすけてやろう。」(アルマ44：5-6)



ゼラヘムナはぶきを引きわたしたものの、ふたたびたたかわないとはやくそくしませんでした。そこでモロナイは、レーマン人たちが自分をまもれるようにぶきをかえしました。(アルマ44：8、10)



ゼラヘムナは、モロナイをころそうと切りかかって行きました。しかし、そのつるぎはニーファイ人の一人のへいしにたたきおとされ、おれてしまいました。(アルマ44：12)



さらにへいしは、ゼラヘムナの頭のかわをはぎました。そして、^{あたま}頭のかわをつるぎの先にひっかけて、かざしました。(アルマ44 : 12-13)



そして、^ひぶきを引きわたし、にどとたたかわないとやくそくをしなければ、この^{あたま}頭のかわが^ち地におちたようにおまえた^ちちも地にたおれることになるだろう、と言いました。(アルマ44 : 14)



これを聞いて、^き多くの^{おお}レーマン人^{じん}がモロナイの足元に^{あしもと}ぶきをなげ、にどとたたかわないとやくそくしました。そして、にがしてもらいました。(アルマ44 : 15)



しかし、ゼラヘムナははげしくおこって、のこりのへいしをたたか^たいにかり立てました。そして、その^{おほ}多くがモロナイのへいしのつるぎにたおれました。(アルマ44 : 16-18)



ゼラヘムナは、^{じぶん}自分ものこりのへいしもみなころされようとするの^みを見て、モロナイにへいしのいのちごいをし、にどとニーファイ人^{じん}にたたか^あいをいどまないとやくそくしました。(アルマ44 : 19)



そこでモロナイは、たたか^あいをやめさせ、レーマン人^{じん}からぶきをとり上げました。へい^あわのちか^あいを立ててから、レーマン人^{じん}はじゆうのみになりました。(アルマ44 : 20, 23)